

# 平成22年度高鍋町事務事業評価表

## ◎事務事業の概要

事務事業名	一般廃棄物(し尿)収集運搬・処理事業				開始年度	昭和48年	
基本目標	廃棄物処理体制の整備				終了年度	—	
担当課(局)	町民生活課	担当係	環境保全係	記入者	上杉真理	評価者	三浦敏
21年度決算	118,949	千円	22年度予算	151,964	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	219 千円		22年度人件費	217 千円		事業従事者数	0.03 人 0.03 人

## ◎事務事業の目的・内容

事業の目的	計画的、適切なし尿汲取りの実施
事業の内容	し尿の汲み取り・運搬・処理

## ◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 汲み取り量	他課の事業での水洗化への移行を図りながら、し尿汲み取り世帯の糞尿の適正な収集を行う。
	2 手数料	糞尿処理の一部を住民に負担してもらい、経費に当てる。
活動指標	3 処理施設負担金	一部事務組合での適正処理を行うため、処理量に応じ負担金を支払う。
	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 通常汲み取り件数	各家庭の汲み取りを定期的・計画的に実施。
	2 臨時汲み取り件数	工事現場等に設置されている簡易トイレの汲み取りを実施。
	3 収集運搬委託料	し尿の収集及び運搬を業者に委託し実施。

## ◎達成状況

指標名		単位	20年度	21年度	22年度	
成果指標	汲み取り量	目標値	5,000	4,030	3,920	
		実績値	4,244	3,888		
		達成率	84.9%	96.5%		
	手数料	目標値	千円	34,125	28,391	27,293
		実績値		29,362	27,085	
		達成率	%	86.0%	95.4%	
	処理施設負担金	目標値	千円	85,463	85,463	118,270
		実績値		85,463	85,463	
		達成率	%	100.0%	100.0%	
活動指標	通常汲み取り件数	目標値	件	15,000	14,000	
		実績値		14,501		
		達成率	%	#VALUE!	96.7%	
	臨時汲み取り件数	目標値	件	100	120	320
		実績値		263	350	
		達成率	%	263.0%	291.7%	
	収集運搬委託料	目標値	円	40,525,000	34,792,000	33,694,000
		実績値		35,763,207	33,485,656	
		達成率	%	88.2%	96.2%	

## ◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、一般廃棄物の処理事業が市町村に義務付けられている。他自治体においては、許可業者によりし尿の収集運搬を行っているが、過去の経緯から、計画的な収集の実施に不安がある。 今後、下水道の敷設若しくは合併処理浄化槽の設置が進み、汲み取り世帯が減少すれば事業の廃止は可能と考える。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	計画的・効率的な収集運搬は行われているが、成果を向上(汲み取り量等の減量)させるためには、下水道や合併処理浄化槽の設置(上下水道課事業)の推進が不可欠である。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	一般家庭等通常汲み取りは、下水道敷設・繋ぎ込みや合併処理浄化槽の設置世帯の増加で、年々減少傾向にあるが、仮設トイレの汲み取りが増加傾向にあり(公共工事の施工等に伴い)、委託料の予想が難しいが委託料は減少している。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	住民との協働は不可能

事務事業名	一般廃棄物(し尿)収集運搬・処理事業	担当課(局)	町民生活課
-------	--------------------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	し尿汲み取りについては、各家庭の下水道への繋ぎこみや下水道認可区域外における合併浄化槽の設置により汲み取り手数料は年々減少傾向にある状況である。 現在、し尿処理を行っている衛生組合では、施設老朽化のため平成22年度に改修工事が予定されており、一時的に工事費等の負担金が増加するが、改修工事後は施設での汚泥焼却は行わず、搬出することとなるためダイオキシンや悪臭の発生の軽減も見込まれるので、効果を期待したい。	今後の方向性					
			事業の方向性	拡充				
				現状維持			○	
				縮小				
				廃止				
		廃止	縮小	現状維持	拡充			
コスト								

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎廃棄物処理計画に基づき、適切な処理をしなければならない。 ◎下水道や合併処理浄化槽の普及により業務自体は減少するものと考えられる。
	コスト	現状維持	